

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月25日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103854		
法人名	医療法人 ビハーラ		
事業所名	グループホーム アショカ		
所在地	松山市南吉田町964番地1 (電話) 089 - 971-6536		
管理者	上岡 清香		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1 - 3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年10月22日	評価確定日	平成20年11月25日

【情報提供票より】 (平成20年9月16日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18人	常勤	15人, 非常勤 2人, 常勤換算 16.1人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	46,000 円	その他の経費(月額)利用状況により異なる	
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成20年9月16日現在)			
利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名
要介護3	1 名	要介護4	7 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.8 歳	最低 73 歳	最高 97 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>料理や編み物、草花の世話や洗濯物たたみ、朝夕のお仏壇のお勤め等、利用者一人ひとりができることを継続していけるよう支援されている。ご自分の写真を、ご親戚の方達に送っていただける方もいる。週に1度、ボランティアの方のピアノに合わせて唱歌や童謡を歌うことを、皆さん楽しみにされている。居間に置かれているマッサージ機も自由に利用されている。 利用者個別の希望にそって、外食や買い物、喫茶店等に出かけられるよう支援されている。毎日、事業所の中庭を散歩されることを日課とされている方もあり、調査訪問時、利用者同士で散歩され、祀ってあるお地蔵さんに手を合わせておられる様子がうかがえた。ご家族も一緒に、苺狩りやお砂踏み等に出かけられている。</p>

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・前回の評価結果を受けて、全職員で改善計画を作成し、地域のいろいろな立場の方に運営推進会議に出席いただけるよう働きかけたり、認知症の勉強会を開始する等、地域の方に事業所を理解してもらえよう、特に力を入れて取り組まれた。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・自己評価は、職員個々の日々のケアの見直しや向上を目指して、すべての職員で取り組まれた。管理者は、「職員一人ひとりの支援の方向性が同じであることを再確認できた」と話しておられた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・会議には、ご家族、地域の役員の方々、婦人防火クラブの方等も出席されている。事業所から利用者の近況やサービスの提供状況等について報告されたり、出席者に「徘徊」や「拘束」についてのご意見等もうかがっている。又、会議時、認知症サポート医でもある法人代表者による「認知症の勉強会」も開催されており、4回目を迎えておられる。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・年に2回開催されている家族会のうち、1回はご家族主体の家族会となっており、ご家族だけで話し合わせ、家族代表者が意見をまとめて、事業所に伝えてくださるようになってきている。又、時に、面会に来られたご家族同士でも交流されている。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・事業所の花火大会に参加した近所の子供たちが、お礼の手紙を持って来訪してくれた。事業所の前は小学校の通学路になっており「まもる君の家」や「見守り隊」の活動にも協力されている。庭の塀越しに、近隣の方と親しくお話をされる機会も多い。区長の方から、来月開催の「空港祭り」のご案内をいただいている。</p>

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム アショカ

(ユニット名) 日輪

記入者(管理者)
氏名 上岡清香

評価完了日 平成 20 年 09 月 16 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			事業所独自の理念を作成しており、理念に基づいてできている。		
			(外部評価)		
			事業所では、「一人ひとりの思いを汲み取って生活を豊かに」「人として当たり前の関わりと支援」の理念のもと、利用者が地域の中で当たり前のように生活できることを目指しておられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			事務所・フロアに貼ってあり、いつでも見られるようにしている。		
			(外部評価)		
			理念に基づいた行動指針をユニット毎に作成し、すべての職員で共有しながら、ケアを実践できるようにされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族会・運営推進会議で説明しており、フロアに理念を掲示している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近隣の方たちと日常的な挨拶を心かけているが、気軽に立ち寄ってもらえる付き合いにはなっていない。		運営推進会議のメンバーの協力も得て、地域に開かれたグループホームにしていく。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運営推進会議を通して、交流の場は設けているが、充分とはいえない。夏の花火大会・秋祭りでは、近所の子供たちを招待し、一緒に楽しんでいる。 (外部評価) 事業所の花火大会に参加した近所の子供たちが、お礼の手紙を持って来訪してくれた。事業所の前は小学校の通学路になっており「まもる君の家」や「見守り隊」の活動にも協力されている。庭の堀越しに、近隣の方と親しくお話をされる機会も多い。区長の方から、来月開催の「空港祭り」のご案内をいただいている。		地域の行事（運動会・盆踊りなど）、活動にも参加していきたい。 管理者は、今後さらに、毎年のようにご招待いただいている小学校の運動会や、地域の盆踊り等にも利用者と共に参加し、地域との交流をすすめていきたいと話しておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議を通して、認知症の勉強会を開催し、地域に貢献している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 全員で自己評価に取り組んでいる。評価結果は全員で共有し、改善に取り組んでいる (外部評価) 自己評価は、職員個々の日々のケアの見直しや向上を目指して、すべての職員で取り組まれた。管理者は、「職員一人ひとりの支援の方向性が同じであることを再確認できた」と話しておられた。前回の評価結果を受けて、全職員で改善計画を作成し、地域のいろいろな立場の方に運営推進会議に出席いただけるよう働きかけたり、認知症の勉強会を開始する等、地域の方に事業所を理解してもらえよう、特に力を入れて取り組まれた。		又、事業所では、家族会や運営推進会議時に、自己評価及び外部評価結果について、ご意見をいただくようにされている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	(自己評価)		
			<p>議事録を回覧し、情報の共有はできているが、話し合いままではできていない。</p>		<p>いろんな職員が参加できる機会を作り、意見交換をしていく。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	(自己評価)		
			<p>運営推進会議での情報交換はできているが、それ以上の連携は取れていない。</p>		<p>連携をとり、サービス向上に取り組んでいく。</p>
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	(自己評価)		
			<p>今までは個々の勉強にまかせていたが、職員の勉強会を持ちたい。</p>		<p>左記に同じ。</p>
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	(自己評価)		
			<p>カンファレンス時に勉強会を持ったり、話し合う機会を持ち防止に努めている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約・解約時には十分な説明を行い、納得していただくように努めている。		なんでも言える雰囲気作りをしていく。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議に出席いただいたり、日々の生活の中で何でも話せる関係作りに努めている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) ご家族の面会時や、状態に変化があった時は、その都度状態報告をしている。毎月ホーム便り・ホームページ・写真にて暮らしぶりや様子を伝えている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時には、ご本人の健康状態や日々の暮らしぶりを伝えておられる。ご家族が、ご本人の日々の様子の写真を注文できるようにされている。遠方のご家族には、職員の手紙を添えて近況を報告されている。又、毎月のホーム便りやホームページをご家族も楽しみにされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族主体の家族会を開催し、意見・苦情を出していただいている。		
			(外部評価) 年に2回開催されている家族会のうち、1回はご家族主体の家族会となっており、ご家族だけで話し合わせ、家族代表者が意見をまとめて、事業所に伝えてくださるようになってきている。又、時に、面会に来られたご家族同士でも交流されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員の要望や意見を聴くように心がけているが、不満や苦情は言いがたい部分も多いので、把握仕切れていない可能性もある。		更に職員が意見を出しやすい雰囲気作りに努めたい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 体調が悪くなった方がいる時、必要ならば勤務の時間を変更し、調整に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の異動時は、馴染みの関係を考慮し、止むを得ず必要な時のみにしている。		
			(外部評価) 新人職員は、1ヶ月間は、先輩職員に付いてケアや業務について習っておられる。利用者、職員ともにユニット間で日常的に交流されており、互いに顔馴染みとなっている。職員の急な体調不良時等に心身を休めることができるよう、ベット等が設置されている予備室を設けておられる。		「今まで以上に職員の団結力を強め、利用者、より心安らかな暮らしを提供していきたい」と話される職員もおられた。
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部の研修にも積極的に参加し、受講後は報告書を作成し、情報を共有している。		
			(外部評価) 職員個々の段階に応じた外部研修の受講を推進されている。管理者は、日々のケアの中で、気付きの大切さや言葉遣い、フロアを離れる際の職員同士の声かけ等について、職員にアドバイスされている。		管理者は、「昨年度は、職員の入れ替わりもあり、思うように内部研修の機会が取れなかったが、職員の定着や質の向上を図るためにも、今後は、新人研修や内部研修に積極的に取り組みたい」と話しておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 相互評価に毎年参加している。愛媛県グループホーム連絡協議会主催の研修を通して、同業者との交流を持っている。		
			(外部評価) 相互評価に参加した職員は「新たな気付きや学びも多く、又、自らの事業所の良さを改めて実感させられることもある」と話されていた。相互評価の際、他の事業所の方から「ホーム内が明るく、広々としており、ユニット間の連携が図れている」等の感想をいただいた。		又、管理者は、今後も、同業者同士で大いに刺激し合い、互いに向上していきたいと考えておられた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員と積極的に関わりを持ち、悩みやストレスを把握するように努めている。時には職場を離れて気分転換する機会を持っている。		今以上に職員のストレスを軽減するように努める。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は時々グループホームに来て職員と接しており、職員のモチベーションを高めるように努めている。		面談する機会を設け、心の距離をより近づけたい。
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談から入居までに基本情報シートによって本人・ご家族の思いをできるだけ把握するように努めているが、場合によっては、あわただしい入居となってしまうことがある。		入居までに管理者だけでなく、フロア長も同行してご自宅に訪問したり、話しあう機会を増やしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族の思いを表出しやすい良い関係作りに努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入居までにホームに訪ねて来られる機会を多く持つことが望ましいが、現状は1～2回となっている。入居されてからのコミュニケーションを大切に、馴染みやすい環境作りをしている。		馴染みながらのサービス利用が望ましい。ご家族の協力をお願いしながらしていく。
			(外部評価) 入居者のご自宅を訪問し、お話をうかがうようにされている。入居間もない方には、ご家族に面会を多くしていただいたり、居室をご自宅のしつらえに近づけるよう、協力していただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 関わりを大事にし、スタッフ都合の支援にならないよう日々努力に努め、信頼関係を築いている。		
			(外部評価) 職員は、「共に家族の一員として笑顔で生活できるように」という思いを大切に日々支援されており、利用者の笑顔に救われることも多い。又、利用者に見事な包丁さばきやお寿司の味付け等の昔取った杵柄を教わったり、長年連れ添ったご夫婦の愛情に感動を受けることもある。利用者同士も、散歩時に、お元気な方が車椅子の方を押してくださるようなこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には職員から声をかけて、話しやすい雰囲気作りをしている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 電話・面会時のコミュニケーションや、ご家族の行事への参加をお願いし、一緒に過ごす機会を設けている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 面会を通して行えているが、こちらから出向いて行くことはあまりない。		ご本人の意向を聴いて、ご家族の協力を得ながら関係が途切れないようにしていく。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一人ひとりを把握して支援しているが、現実には利用者同士がぶつかってしまう場面があるため、スタッフがクッションとなり支援している。		トラブルにより、今後の関係が悪化しないように努めている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退去後にこちらから連絡をとることは少ない。		サービス利用後も、ご本人・ご家族の安否を気遣い関係を大切にしていく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価) 日々のコミュニケーションの中で、少しでも思いを把握できるよう努めている。</p> <p>(外部評価) 職員は、利用者に寄り添い、スキンシップや目を見て会話される等、一人ひとりの思いを汲み取れるよう努めておられる。又、センター方式のアセスメント表や事業所独自のアセスメントシートで、得た情報を職員間で共有し、日々のケアにつなげておられる。</p>		
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価) アセスメントシートをご家族と協力して記入し、いつでも見られるようになっており、バックグラウンドの把握に努めている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価) 日々、ケース記録に記入することで、スタッフも把握に努めている。</p>		<p>具体的な記録を増やし、更なる把握に努める。</p>
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ご家族・本人の意向を聴き、一ヶ月に一回カンファレンスを行い、スタッフ全員で話し合いをしている。</p> <p>(外部評価) ご本人の思いを主体に、ご家族の意向をうかがい、職員の気付き等も採り入れて介護計画を作成されている。又、利用者のこれまでの暮らしが継続できるよう、生活歴等も踏まえた計画となるよう話し合われている。</p>		<p>スタッフ一人ひとりから意見・アイデアを出しやすい雰囲気作りをしていく。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			定期的に見直しをしている。状況変化があった時は、その都度見直しをしている。		
			(外部評価)		
			3ヶ月ごとの見直しと、状態変化時には随時の見直しを行っておられる。個別のケア記録には、介護計画に沿った支援については#の印を、ケアポイントにはの印を付け、介護計画の見直し時に反映できるよう工夫されている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個人記録・ケアプランがいつでも見れる状態にあり、日々の気づきや工夫を記入したり、見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			当ホームでは、デイサービスやショートステイの多機能は取り入れていない。		
			(外部評価)		
			職員は、お墓参りや、配偶者のご葬儀等にも付き添われている。		管理者は、今後も、利用者がご夫婦等、ご家族と過ごす時間を大切に支援していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 週一回ボランティア(ピアノ)の方に来ていただいている。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 他のサービスは利用していない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議への出席はいただいているが、ケアマネジメントの協働はできていない。		連携をとり、協働していけるようにしていく。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 母体が病院のため、定期的な診察・緊急時の往診など行っており、状態の変化時、医師と連携をとっている。他のかかりつけ医への受診・往診もできるようになっている。 (外部評価) 受診の際には、ご家族と一緒に職員も同行されている。週に1度、母体病院の医師が往診に来るようになっている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 理事長が認知症サポート医をしているため、左記のように支援できている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師を配置しており、日常の健康管理など相談しながらできている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 連携している病院があり、早期退院にむけて支援している。入院時は基本情報シート・サマリーにて、病院と情報を共有している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 状態変化時は、その都度ご家族・医師・スタッフが話し合いを持ち、意向や方針を決定している。終末期生活のための同意書を作成している。 (外部評価) 入居時に、ご本人やご家族に、終末期の支援の方針について説明されている。状態変化時にはその都度、繰り返し話し合い、ご家族等の気持ちを尊重し、方向性を共有されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 今後の変化に備え、人手の少ない夜間などの対応をスタッフで話し合っておく必要がある。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) アセスメントシートや支援状況を把握しているが、十分な情報交換はできていない。		入居前の話し合いなど、今まで以上に必要とおもわれる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1.その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			日々の声かけ、対応には気をつけている。ホームページやお便りへの写真掲載・記録物の情報開示の同意書をいただいている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者を人生の先輩として敬い、利用者一人ひとりの個性、生活習慣を尊重した声かけや対応を心がけておられる。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			日々の生活の中で、できる限り自己決定できる場面作りをしている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			一人ひとりのペースを大切に、スタッフ都合の支援にならないように、気をつけている。		より希望に沿えるように努力していく。
			(外部評価)		
			昼食時、職員は利用者がゆっくり食事を楽しめるよう声かけされていた。又、利用者が居室で過ごす時間を大切にできるよう支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 月に一度訪問理容にて対応している。女性の方は、マニキュアをしたりして、喜ばれている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりのできることを、できないことを把握し、盛り付けや片付けなどの場面作りをしている。		食べたいものを聴くことで、メニューに反映していけたらと思う。
			(外部評価) 調査訪問時、利用者が盛り付けや配膳等にいそしんでおられる様子がうかがえた。又、職員は、利用者の整容にも気を配り、車椅子から椅子に移乗して食事を始められるよう支援されていた。食事中はテレビを消し、職員も利用者とともにお話をされながら食事を楽しまれていた。食後の食器ふきに精を出しておられる男性の利用者もおられた。季候の良い頃には、中庭でおやつを楽しまれることもある。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 意向を伝えられる方は、職員と買い物支援を行っている。伝えることができない方は、スタッフで相談し、楽しめるよう支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) その方の排泄パターンに応じて、パットの種類を工夫し、入居者の方からのサインを見逃さないようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			時間帯はなかなか希望通りにはいかないが、無理強いすることなく支援している。		
			(外部評価)		
			ユニットによっては、夜間に入浴される方もおられる。湯の温度をご本人の好みに調節したり、歌と一緒に歌ったり、時には、昔話をうかがったりしながら、入浴の時間を楽しめるよう支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			その人その時の状況に合わせて、気持ちよく休める環境作り・声掛けをしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			喫茶店・買い物など気晴らしの支援に努めているが、十分ではない。一人ひとりの能力に合わせて家事参加をすることで、力を活かせるような場面作りをしている。		
			(外部評価)		
			料理や編み物、草花の世話や洗濯物たたみ、朝夕のお仏壇のお勤め等、利用者一人ひとりができることを継続していけるよう支援されている。ご自分の写真を、ご親戚の方達に送っておられる方もいる。週に1度、ボランティアの方のピアノに合わせて唱歌や童謡を歌うことを、皆さん楽しみにされている。居間に置かれているマッサージ機も自由に利用されている。		今後も、利用者の願いやご家族の意見に沿いながら、利用者一人ひとりが楽しみごとや出番を見出せるよう、支援を継続していかれてほしい。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自分でお金を持たれている方が少ないが、できる方はしていただいている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			本人の希望に添ってできるだけ外出している。外出の機会を増やせるように、想いを大事に支援していく。		
			(外部評価)		
			利用者個別の希望にそって、外食や買い物、喫茶店等に出かけられるよう支援されている。毎日、事業所の中庭を散歩されることを日課とされている方もあり、調査訪問時、利用者同士で散歩され、祀ってあるお地藏さんに手を合わせておられる様子がうかがえた。ご家族も一緒に、蕁狩りやお砂踏み等に出かけられている。		職員は、「これからも、もっと気軽に外の空気に触れてもらえるような機会を増やしていきたい」と話しておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			全員の希望はかなえられないが、お墓参りに行けた方がいる。できるだけ、希望に沿えるように努めたい。		ご家族の協力を仰ぎ、これからも外出支援をしていく。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			入居者の方の希望に沿えるようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			気軽に訪問できるように努めている。来られたときには、笑顔で対応し、居心地よく過ごしていただけるように、努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 止むを得ず身体拘束を行う場合は、同意書にてご家族の了解を得ている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日中、フロア・中庭への出入り口は鍵がかかっていないが、常にスタッフが見守っている。 (外部評価) 午前中の職員の人数が少ない時間帯に、短時間ではあるが、施錠されているユニットもある。		管理者は、今後、施錠しなくてもすむための取り組みを、すすめていきたいと考えておられた。この機会に、利用者の自由な生活の支援について、理念にも立ち返りながら、話し合いを重ねていかれてほしい。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) スタッフ間で声を掛け合い、確認しあっている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状況に合わせ、対応している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書・ヒアリハットの作成を行い、事故原因や再発防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時マニュアルは作成しているが、定期的な訓練は行っていない。		定期的な訓練・勉強会を行って行きたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回避難訓練を行っている。マニュアルを作成し、運営推進会議で協力をよびかけている。 (外部評価) 火災、地震等の災害マニュアルを作成し、年に2回、避難訓練を実施されている。訓練実施時には、ご近所に参加の案内をされている。又、運営推進会議には、地域の婦人防火クラブの方に出席いただき、災害時の避難場所等について説明していただいた。事業所では、先ず何よりも火を出さないよう、日頃から火の元の管理の徹底に努めておられる。		管理者は、災害時には、事業所を避難場所として提供することを考えておられた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) リスクについては、ご家族に必要なに応じて説明を行い、対応策についても説明をしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日バイタルチェックをし、日々の体調の変化にも目をむけ、異常の早期発見に努めている。異常時は、医師の指示を受け、情報を共有している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全ての薬の理解はできていないが、服薬一覧表があり、いつでも目を通せるようになっている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 乳製品を摂ったり、運動を促したりしているが、やむをえないときは、薬を使用している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後行えている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分チェック表をつけ、食事・水分の確保に努めている。自立されている方にも、さりげなく声かけている。 (外部評価) 食材は毎日買い出しに行き、新鮮な材料を使って調理されている。利用者個々の状態に応じて、きざみ食やおかゆにされたり、汁物にとろみを付ける等、配慮されている。水分は1000cc、乳製品は200ccを目安にし、コーヒー牛乳やココアを朝食やおやつに飲むようにされている。		焦らずこれからも、食事・水分の確保に努めたい。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) 利用者・職員ともに毎年インフルエンザの予防接種をしている。消毒の取り決めをしており、マニュアルを作成している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>衛生管理を行うためのマニュアルが作成されている。食材の買い物には毎日いっており、新鮮なものを食べるようにしている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関の門は開いており、自由に出入りができるようになっている。「まもる君の家」の設置に協力している。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>照明は落ち着いた明るさとし、ロールカーテンにて光の調節をしている。大きな音を立てないように注意している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居住空間のどこからでも中庭が眺められ、中庭にはお地蔵様や石灯籠、テーブルやベンチが配置され、菜園もあり、季節の草花も咲いていた。共用空間は開放的で明るく、和室には経机が置かれており、御灯明やお花、お水を供え、掛け軸が掛けられていた。居間の壁には、行事の折の利用者の写真が貼られていた。食堂の椅子の脚にテニスボールをはめて、不快な音がしないよう、工夫されている。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日中は自分の好きな場所で過ごしていただいている。気の合う方同士で過ごせるよう、セッティングしている。</p>		<p>自立した方もくつろげるスペースを確保できるよう努めたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時馴染みのものを持ってきていただくように伝えており、筆筒・仏壇・鏡台などを持ってこられている方もいる。		
			(外部評価)		
			居室には、タンスや仏壇、鏡台や観葉植物等を持ち込まれていた。自作のぬり絵や誕生日に職員から贈られた寄せ書き、ご家族の写真等を、大切に飾っておられる居室もうかがえた。ご夫婦の居室は、二間続きとなっており、お二人で座ってテレビを見られるよう、二人がけのソファが置かれていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温度差に注意し、居室の温度はその方に合わせて調整している。換気をしたり、消臭スプレーにて対応している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下には手すりがあり、床にはできるだけ物を置かず、広くつかえるようにしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			居室の入り口には表札をかけている。一人ひとりのペースに合わせた声かけにて、支援している。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			中庭に自由に出ることができ、畑には季節の花や野菜などがある。ベンチが置いてあり、天気の良い日には、庭でおやつを食べることもある。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己 ②) 評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	自分で思いや願いを伝えることが難しい方は、ケアプラン・立案シートから想いを組む努力をしている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己 ①) 評価) 1 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	長い時間ではないが、コミュニケーションをとるように心がけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己 ②) 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自立している方は自分のペースで生活されているが、介助が必要な方は職員のペースになっていることがある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己 ②) 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	関わりや場面作りに気をつけており、笑顔をひきだす支援をしている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己 ③) 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	スタッフ不足により、出かけられる機会が少ない。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己 ①) 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安なく過ごしていただけるよう、日々の健康管理・身体観察を行っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己 ②) 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ご自分で要望を伝えられない方もいるため、充分ではない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己 ②) 評価) 1 ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	電話連絡時や面会時に話をする機会を持っているが、充分ではない。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己 ③) 評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地域の方が来られることはほとんどないが、ボランティアの方が来られている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議への出席者が増え、出席者に対し認知症の勉強会を開催することで、理解者は増えていると思う。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	業務に追われることがあるが、入居者方の笑顔に救われている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	もっと出かけたい方や、スタッフと関わりたい方がおられると思うため、今に満足することなく支援していく。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族の方より、感謝の言葉をかけていただくことがあるが、今に満足することなく、支援してく。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・ 少しの時間も入居者の方と寄り添い、笑顔を多く引き出せる支援をしている。
 ・ 看護師がいるため、スタッフと連携し、健康に安心して生活できるように取り組んでいる。
 ・ 生活の様子を写真に残し、家族の方にお見せしている。